

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 16 日作成)

小委員会名	伝統的木造構法の構造要素設計法小委員会	主 査 名：大橋好光 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (木質構造運営委員会)	委員長名：緑川光正 主 査 名：河合直人
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2016 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>伝統的構法の接合部その他の個別の要素については、設計法が確立したとは言い難い。また、これらの構造要素は、伝統的木造建築物に限らず、在来軸組工法等にも構造要素として組み込まれることが考えられる。本小委員会は、伝統的木造構法の構造要素を対象として、その設計法を作成することを目的とする。</p> <p>初年度：構造要素の拾い出し・分類整理、および、それぞれの分野の研究、設計法作成がどの程度まで進んでいるかの整理。 2 年度：要素ごとの担当者の設定、および関連文献の収集・分析 3 年度：要素ごとの設計法の作成 4 年度：成果の取りまとめ 設計法への反映</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：大橋好光 (東京都市大学) 幹事：荘所直哉 (明石高専) 委員：藤野栄一 (職業大)、松野浩一 (東洋大)、坂田弘安 (東工大)、河合直人 (工学院大)、軽部正彦 (森林総研)、小野泰 (ものづくり大)、戸田 正彦 (北林試)、北守顕久 (京都大)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2013 年度予算	120,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回 (年度内計画を含む)
刊行物	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等)	
大会研究集会・パネル ディスカッション	
対外的意見表明・パブ リックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られ た成果との関係)	耐力要素ごとに設計法の作成を目指して、既往の研究の収集・分析をおこない、設計法の考え方の整理してきた。 ①継手・仕口の既往の研究の収集・分析 → 追掛け大栓継ぎ、金輪継ぎ、小根ほぞ差し仕口・腰掛け鎌継ぎ、長ほぞ差し込栓打ち、竿車知継ぎ ②鉛直構面の既往の研究の収集・分析 → 土壁、きざり下地漆喰塗り構面、板壁 (縦張り)、板壁 (横張り) ③水平構面の既往の研究の収集・分析
委員会活動の問題点 ・課題	なし